

如月愛南文芸

篠南川柳会

『米』

世が変り宝の米が牛のエサ
 米の国日本どこへ行くのやら
 新米で今夜は旨いにぎり寿司
 新米をあちこち送るお付合い
 米づくり骨折れ損のもうけなし
 有難く二台の米を今日もとぐ
 食べ盛り米の催促早くなる
 米が穫れ農家もちよつと一休み
 米飯が御馳走だった時を生き
 新米の湯気に囲まれエビス顔

菊川俳句会

出して来ず出さずに届く年賀状
 落ち椿程よき気配閑居かな
 新年や孫の奏でるクラリネット

松本もとお
 田中 保美
 前田由紀子
 田中すみ子
 徳岡嗟津喜
 芝田 憲蔵
 射場ちずる
 松本 安子
 谷口千代子
 国松 幸枝

宇和の路に夫婦遍路や春衣
 おだやかな新春迎え武者ぶるい
 もてなしのいっぶくの茶や冬ぬくし
 初みくじ信じてドカ喰い腹痛め
 冬の朝もう一回だけ眠りたい

中川 一喜
 長田 高明
 長田千恵美
 河内 海月
 吉田 彩乃

さわらび短歌会

一陣の風に舞い散る山茶花の傍に顕てる箒持つ姑
 冬さびしサイクリングロードにブルーの線引かれたばかりの道歩みゆく
 雲間より光射したるいつときを観音山に緑明るむ
 少年の甲高き声駆けぬける冬木に透ける光にも似て
 これ以上葉の増えるをためらいて気になる不調医師には告げず
 青虫を潰してふつと罪思う同じキャベツを食う仲なるに
 亡き父を知る里人に出会ひたり山茶花白き菩提寺の庭
 空蟬がしかと立木の葉をつかみ風吹くままに初冬を揺れるる
 わが氏名に取って代はりたる十二桁の個人番号に不安拭へず
 小春日の背にあたたかく幼子はどんぐり拾う声弾ませて

小野山シマ子
 宮下 熊夫
 村尾加都子
 小野山シマ子

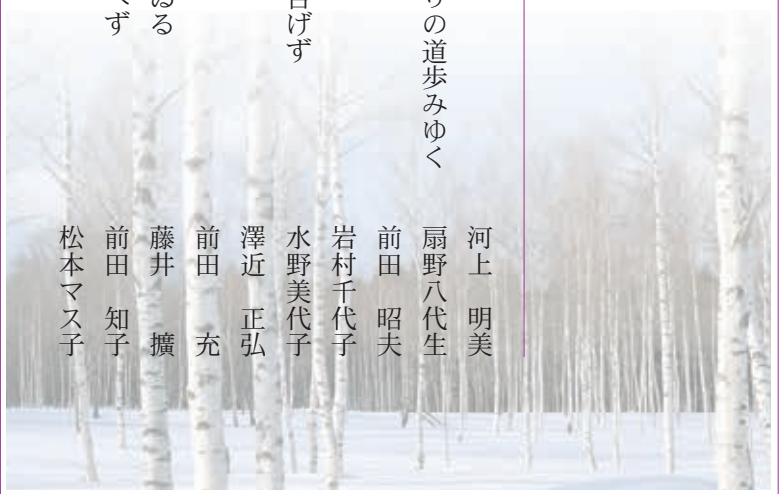
河上 明美
 扇野八代生
 前田 昭夫
 岩村千代子
 水野美代子
 澤近 正弘
 前田 充
 藤井 擴
 前田 知子
 松本マス子

宇和の路に夫婦遍路や春衣
 おだやかな新春迎え武者ぶるい
 もてなしのいっぶくの茶や冬ぬくし
 初みくじ信じてドカ喰い腹痛め
 冬の朝もう一回だけ眠りたい

中川 一喜
 長田 高明
 長田千恵美
 河内 海月
 吉田 彩乃

さわらび短歌会

一陣の風に舞い散る山茶花の傍に顕てる箒持つ姑
 冬さびしサイクリングロードにブルーの線引かれたばかりの道歩みゆく
 雲間より光射したるいつときを観音山に緑明るむ
 少年の甲高き声駆けぬける冬木に透ける光にも似て
 これ以上葉の増えるをためらいて気になる不調医師には告げず
 青虫を潰してふつと罪思う同じキャベツを食う仲なるに
 亡き父を知る里人に出会ひたり山茶花白き菩提寺の庭
 空蟬がしかと立木の葉をつかみ風吹くままに初冬を揺れるる
 わが氏名に取って代はりたる十二桁の個人番号に不安拭へず
 小春日の背にあたたかく幼子はどんぐり拾う声弾ませて



はじめまして。赤ちゃん。

12月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

12月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。